鉄道総合技術研究所

新商品説明会

2024

日時：2024年11月1日（金）
10:00 - 16:30

場所：公益財団法人
鉄道総合技術研究所
国立研究所

東京都国分寺市光町2-8-38

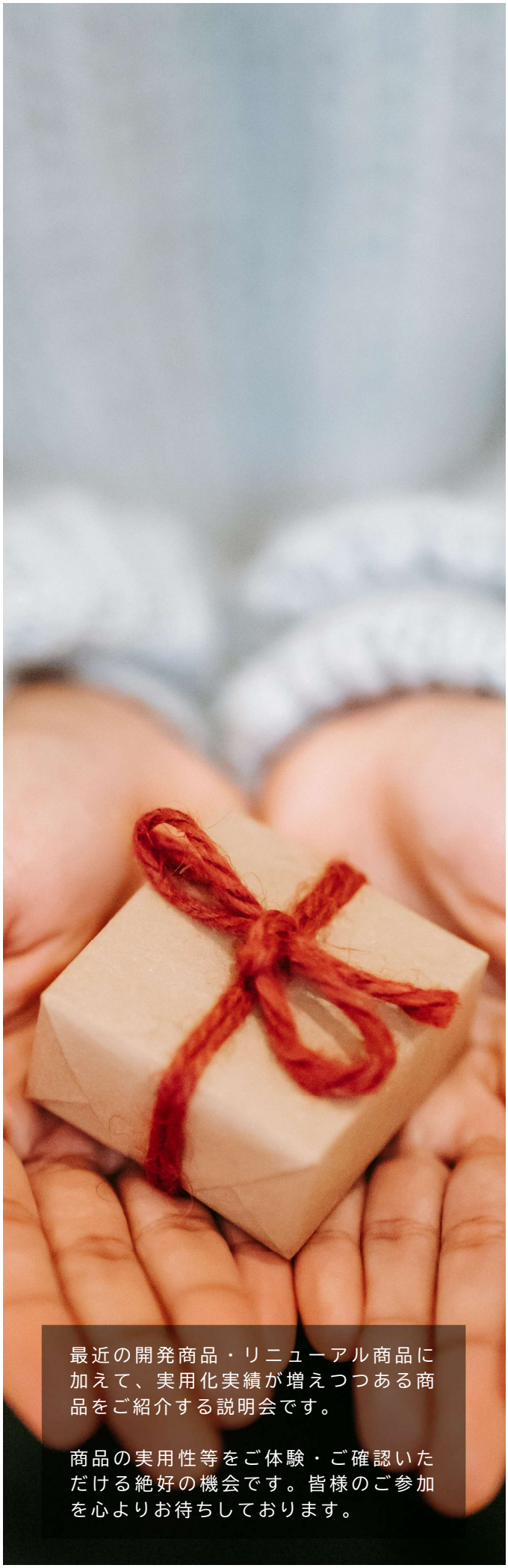
JR中央線
国立（くにたち）駅から徒歩7分

事前登録制

パソコンから↓
https://www.rtri.or.jp/sales/gijutu/20241101.html

スマートフォンから→

鉄道総研　技術交流活動



最近の開発商品・リニューアル商品に加えて、実用化実績が増えつつある商品をご紹介する説明会です。

商品の実用性等をご体験・ご確認いただける絶好の機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お問合せ：公益財団法人鉄道総合技術研究所
事業推進部　営業
電話　：042-573-7232
メール　：shitara.hideki.sa@rtri.or.jp
担当　：設楽（したら）

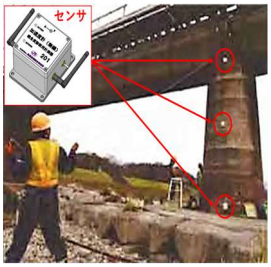
出展予定商品（出展商品は変更されることがございます）

維持管理

建設

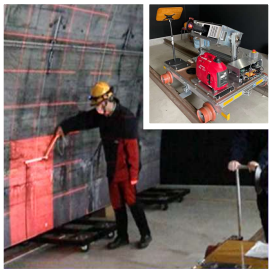
耐震

© 2024 Railway Technical Research Institute. All rights reserved.



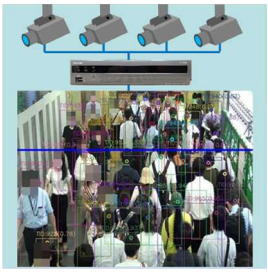
橋梁下部工・土留め擁壁の健全度診断システム IMPACTUS

橋梁下部構造物等の健全度評価において、指標の１つである固有振動数の推定をサポートする計測システムです。



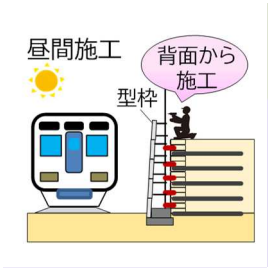
トンネル健全度自動判定・要注意箇所投影システムと電子野帳

AIを用いて壁面画像からトンネルの健全度を自動判定し、要注意箇所を壁面に投影するシステムと検査記録野帳です。



駅の利用状況把握のための旅客分布推計システム

駅改良計画等の検討において重要な駅構内の旅客分布を、防犯カメラの画像を解析し、低コストで推計します。

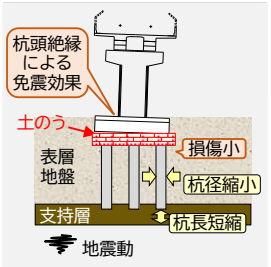


狭隘箇所に適用可能な補強土擁壁の背面施工法

狭隘箇所での施工を可能にする軽量埋設型枠を用いた補強土擁壁で、工期とコストを削減できます。

ストレステストとDISERによる地震後の早期運転再開支援

構造物の耐震性能の事前把握と地震時の沿線の揺れや被害推定情報の即時配信により、地震後の早期運転再開を支援します。



杭と土のうを併用した基礎による免震工法

杭とフーチングの間を土のうで絶縁し、地震力を30～50%抑制する低コスト・短工期の免震基礎工法です。

構造物目視検査支援システム ArgosFinder

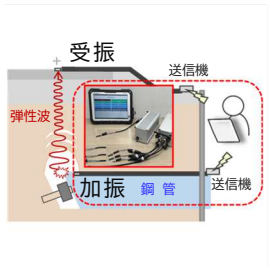
3次元画像を用いて構造物の目視検査を効率化し、変状の有無や経時変化を容易に把握できるシステムです。

構造物診断用非接触振動測定システム　UドップラーⅢ

レーザのドップラー効果を利用して、構造物振動を離れた場所（0.1m～数10m）から非接触で測定できるシステムです。

のり面工背面地山の劣化度調査試験機

のり面工背面の地盤劣化を調査する低コストな小型の貫入試験機です。地盤への貫入抵抗値から劣化度を判定します。

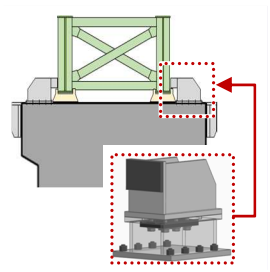


線路下横断工事中の緩み検知による軌道変状推定システム

線路下横断工事中の地盤の緩みを検知し、軌道沈下量を推定するシステムで、安全性向上とコスト削減を実現します。

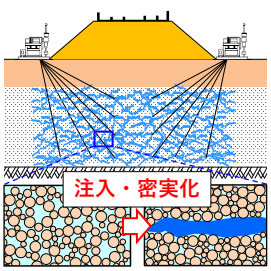
鉄道構造物の設計プログラム VePP／JRSNAP／DARS

橋りょうや高架橋など鉄道構造物の照査を目的とした、最新の設計標準に準拠したプログラムです。



既設橋りょうの支承の復旧性を高めた移動制限装置

地震時のエネルギーを吸収し、橋桁の移動を抑制して支承からの逸脱を防ぐ装置です。



脈状地盤改良による液状化対策（脈状地盤改良工法）

地盤に薬液を割裂注入し密実化することで、低改良率・低コストで地盤改良効果が得られる液状化対策工法です。